



編集・発行 山見乃妙 能勢部
日蓮宗 報部
〒563-0132
大阪府豊能郡能勢町野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

口癖

倉橋 觀隆

「無くて七癖。有って四十八癖」
人にはそれぞれ癖というものがあります。その中に口癖もあります。

私の場合、二十代の頃はすぐに「どうせ」が口をついて出ていました。

学生時代、東京のあるお寺で住み込み修行をしていた時のことです。その当時ご住職を先生と呼んでいました。

ある日、先生と食事をしている時、いつもの「どうせ」が出てしまいました。すると先生が

「君はすぐ『どうせ』と頭に付ける。その口癖を直

しなさい。これから言う度に罰金百円取るぞ」と。

私は「そんなこと言われなくても、どうせ…」

「はい百円」

本当に取られてしまいました。その後もついつい口に出

てしまい…。気付けば食堂に置かれた「どうせ貯金」と書かれた箱はいっぱいになっていました。

ある日、先生は私にこんな話をして下さいました。

「『どうせ』とは、まだやってもいないのにマイナスの結果を想定した、諦め言葉

としてみんなよく使うよな。それは自らをどんなにかおとしめていることだとは思わないか。自分をもつと信じて一歩踏み出してご

らん。すると、今見ているのとは違った景色が見えて来るんじゃないかな。一歩また一歩と進むうちに、やる前には想像もしていなかった、本気になってい

さるものがある。それが日蓮聖人が言われるお題目の力なんだよ。仏様を信じて、何事も諦めるなよ」
そして、最後にこう付け加えられました。
「『どうせ』にはもう一つ使

「『出来るか、出来ないか』ではなく『やるか、やらないか』なんだよ。何事も覚悟の問題なんだ。更に私たちにはその背中を押して下

づける貯金箱です。四十年経った今も書斎に飾ってあります。私を勇気づける貯金箱です。

《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

まごに

知るべし

ぜんちしき

是れ

だいいんねん

『妙莊嚴王本事品第二十七』

善知識ってなんでしよう

それは善き友人生の

共に歩める真の友

大きな心の支えです

出会いによって生き方は

驚くほどに変わります

ご縁の糸を紡ぎましょう

みんな仲良くしたいから

【7月の主な行事】

☆七夕祭 7日(金)〜8月7日(月)
お願いの事を短冊に書き入れて
妙見様に奉納します

☆虫払祈禱祭 22日(土)〜24日(月)
宝刀(浪切丸)を頭に頂き、煩
悩の虫を払ってもらいます。

土用の頭痛封じにも。

★写経会 9日(日)11時

★月例祈願法要 15日(土)13時

★星嶺演奏会 16日(日)11時

★星嶺茶論 16日(日)13時

お題目の太鼓練習です。
★鷗様月例祭 22日(土)15時

【8月の行事予定】

★写経会 13日(日)11時

初心者の方もどうぞ！

★月例祈願法要 15日(火)13時

妙見さまの御縁日祈願会

★星嶺演奏会 20日(日)1時

フルート&ピアノ生演奏

★星嶺茶論 20日(日)13時

お題目の太鼓練習です。

★孟蘭盆会施餓鬼法要 22日(火)13時

お盆のご回向をいたします。

★鷗様月例祭 22日(火)15時

※火伏守札を授与

《交通のご案内》

◆ケーブル&リフト毎日運行中

継続は力なり

箕浦 溪介

7月を迎え、私事ではあるが、この能勢の地に来てから一年半が経つ。ついこの間までは大学生だったのに、時が経つのは早いものだ。

「継続は力」この言葉の意味を私はこの一年半で身をもって体験した。

私はスポーツジムに通い始めて一年半になる。ジムに通うようになったきっかけは、大学の卒業式の際にスーツを着なければならなかった事に始まる。

スーツ着用という知らせを受けたのは卒業式の一か月前だった。成人式の時に買ったスーツがあるから大丈夫であろうと安心して買った。式の二日前になり、まさか着れないことはないだろうと思いつつも試しに着ようとしたら案の定、ズボンが入らなかったのだ。

る。たった二年の間で新品同様のスーツが着れないわけがない。しかし無理矢理ホックをしめようものならボタンがはじけ飛ぶ始末。慌ててスーツを買い直しに行くという、恥ずかしい経験をした。

それから、何度も心が折れそうになったが、ジムに通い体を鍛え続けたかいあってズボンは無事はけるようになった。しかし、今

度は何故か上着が着れなくなつたのである。嬉しいような悲しいような、

このようにコツコツと継続することで文字通り力になる。とはいえ、筋力トレーニングだけに限らず何事に対しても継続することは難しいことだ。

日蓮聖人は「魚の子は多くれども魚となるは少なく菴羅樹の花は多くさきども菓になるは少なし。人も又此のごとし。菩提心を発す人は多けれども退せずして

Aー(人工知能)の発達はめざましい。某会社ではメールやチャットでの問合せの四割をAーが対応するという。また別の会社では顧客対応結果から苦情を抜き出す作業をAーにさせることで、人の作業は以前の1割程度ですむようになってたそう。

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

これをAーが人の仕事を取ると考えるか、人手不足を解消すると見るか。諸行無常の世の中、頭だけで物事の是非を論じていてもきりが無い。まずは目の前の状況を受け入れて行動すること。そこでどう動けば良いのかは仏に問えば良い。

U.K

俳壇

（みのり）

黒光る大寺の廊風薫る

身の丈の生活蜜けし枇杷熟る

焙じ茶の匂ふ厨辺朝涼し

夏帽子すれ違ふ列中国語

まくなぎを払い払いて磔百段

暦のあれこれ

七曜

七曜とは、月火水木金土日(太陽)の七つの星のことで、今では一週間の曜日の名前となつていますが、旧暦では吉凶判断に用いられていました。その起源は古く、古代ユダヤや古代バビロニアなどから発展していった占星術です。それがインド、そしてシルクロードから中国に伝わり「宿曜経」という経典に訳され、それを弘法大師空海が日本に伝えたのです。

これは当時平安貴族にとっても人気があり、その日の行動規範になる等、生活に欠かせないものになりました。西洋から東洋に伝わった七曜は、今もとぎれることなく続いていますが、驚くのは遠く離れた西洋と日本で千年を経た後でも、一日もずれることなく曜日が合っていたといふのです。距離と時間を考えると奇跡的な話です。